

令和4年度 地方版図柄入りナンバープレート寄付金活用事業募集要項

1. 概要

地方版図柄入りナンバープレートは、フルカラー版を選択する際に1000円以上の寄付金をいただいております。その寄付金を活用し地域の方々へ還元するための事業を「公益財団法人日本デザインナンバー財団（以下、「ナンバー財団」という。）」が例年募集しております。

ナンバー財団への申請にあたり、地域の協議会が事前に事業を選定する必要があるため、弘前地域（弘前市、西目屋村）の「図柄入り弘前ナンバープレート」についても、図柄入り弘前ナンバープレート推進協議会が以下のとおり事業の募集を行います。

下記をご確認のうえ、アイデアのある団体等はぜひ応募ください！

2. 募集期間等

○募集期間 令和4年6月1日（水）～令和4年8月1日（月）

○事業実施期間 令和4年10月頃（ナンバー財団決定後）～令和5年3月31日

※ナンバー財団への申請期間は例年、7月20日～8月31日

3. 対象団体

次の（1）～（4）すべてにあてはまる団体であること。

- （1）法人または団体であること。（個人を除く。）
- （2）組織の運営に関する規則（規約、会則等）を有していること。
- （3）弘前地域で活動し、弘前地域に主たる事務所または事務局を置くこと。
- （4）反社会的勢力と関係がないこと。

4. 対象事業

次の（1）～（4）すべてにあてはまる事業であること。

- （1）公益財団法人日本デザインナンバー財団助成対象者選定規程第2条に定める交付対象事業にあてはまる事業であること。（別紙のとおり）
- （2）弘前市、西目屋村の地域住民を対象とした事業であり、地域住民に恩恵があること。
- （3）事業費のうち申請する助成額が助成予算額の範囲内であること。
- （4）営利を目的とした事業でないこと。

5. 助成予算額

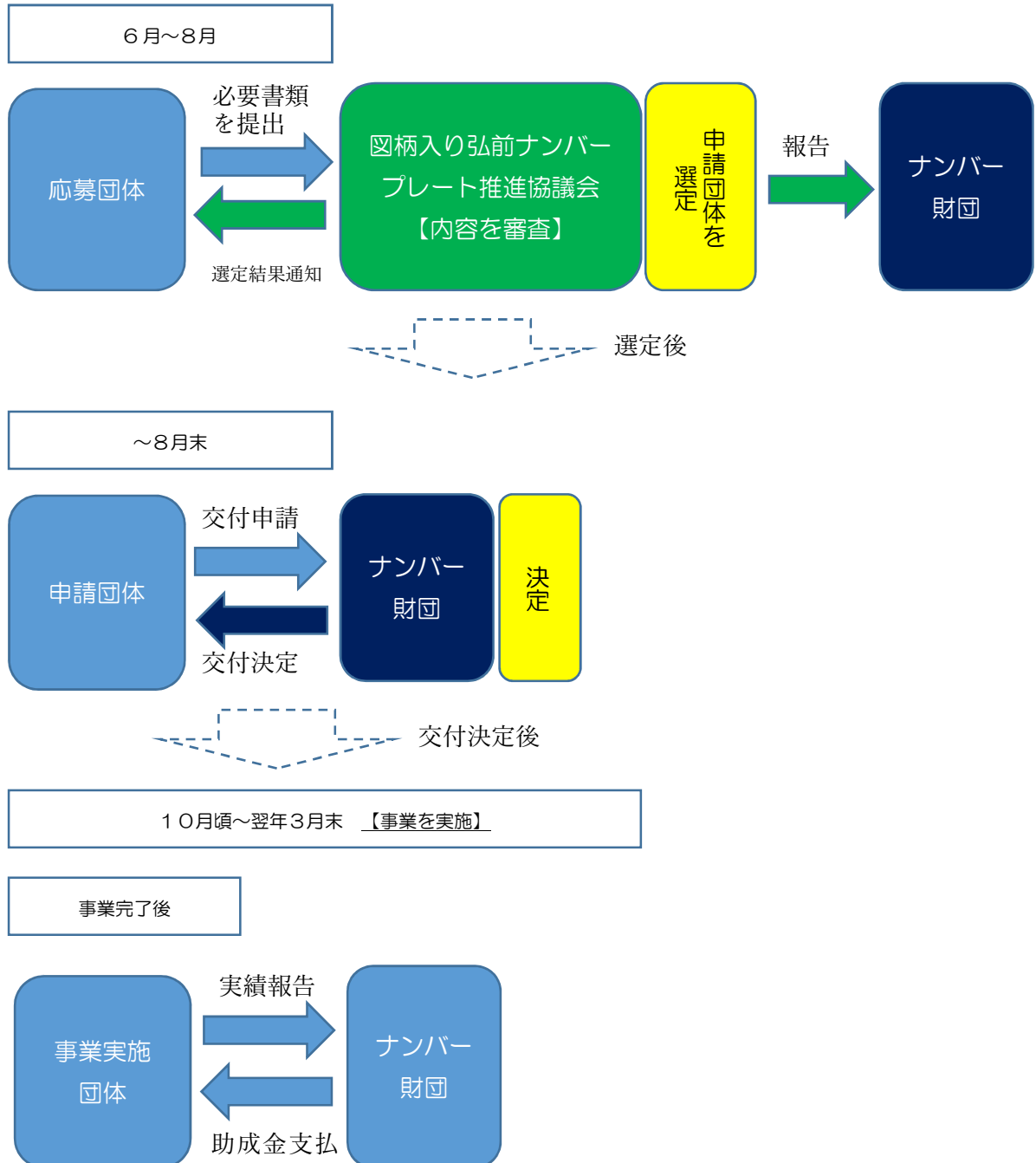
1,804,000円（現時点）【令和3年度寄付金分】

※当初の掲載から令和3年度分を追加済み

6. 助成対象経費

事業の実施にかかる経費（ただし、法人または団体の運営費等を除く）

7. 事業実施の主な流れ



8. 応募書類（選定後は下記資料にてナンバー財団へ申請できます）

（1） 地方版図柄入りナンバープレートの寄付金活用事業助成金交付申請書 （様式第1）

①別紙1 助成金交付申請事業の概要

②別紙2 助成金交付申請額及び助成対象経費の内訳等

（添付資料）

- ・助成対象経費の算出の根拠となる資料（見積書、仕様書等）
- ・会社概要及び業務内容がわかる資料（交付申請者が地方公共団体の場合は除く。）
- ・その他助成金の交付に関して参考となる資料

③別紙3 助成金交付申請事業に係る総事業費の財源内訳（予定）

（2） その他、選定にあたり図柄入り弘前ナンバープレート推進協議会が必要とする資料

9. 応募方法

応募書類を持参または郵送すること。

（別紙の事業に該当するか確認しますので、必ず事前にご相談ください。）

10. 応募締切

令和4年8月1日（月）17：00必着

11. 申請書類様式について

下記の弘前市またはナンバー財団ホームページからダウンロード

○弘前市

「弘前市＞市からのお知らせ＞お知らせ（市政情報）＞図柄入りナンバープレート寄付金助成事業について」

○ナンバー財団 <http://www.d-number.or.jp>

12. 選定方法

提出書類を審査し、図柄入り弘前ナンバープレート推進協議会（選定会議）が選定する。

（選定結果について、各応募団体等へご連絡します。）

13. 応募・お問い合わせ先

○図柄入り弘前ナンバープレート推進協議会 事務局

（弘前市役所 都市整備部 地域交通課 担当：石野、三浦）

〒036-8551 青森県弘前市大字上白銀町1-1

OTEL：0172-35-1102 mail: chiikikoutsuu@city.hirosaki.lg.jp

1. 公共交通機関等のバリアフリー化に資する事業

(事業の例)

- ・ ノンステップバス、リフト付きバス、ユニバーサルデザインタクシーの普及
- ・ 移動支援のための福祉車両の購入
- ・ 観光地設備のバリアフリー化に係る取り組み 等

2. 公共交通の輸送の円滑化、輸送力の強化に資する事業

(事業の例)

- ・ 連節バス、バス専用道等を組み合わせて、公共交通の速達性・定時性の確保や輸送能力の増大を可能とするBRT (Bus Rapid Transit) の普及
- ・ イベント等における臨時バスの運行、周遊パスの発行 等

3. 公共交通機関等の利便性の向上・観光旅行客の受入れ体制の強化に資する事業

(事業の例)

- ・ 外国人旅行客等が公共交通の移動中でも交通情報の円滑な収集が可能となるバスやタクシー等の車内、乗降場所への無料公衆無線 (Wi-fi) の設置
- ・ 多言語対応のタクシー配車アプリの普及等
- ・ バス停留所等の整備
- ・ 二次交通が不便な地域におけるレンタサイクルの普及促進 (自転車導入やサイクルラック設置費用等)
- ・ M a a S等の導入における実証実験等
- ・ 観光スポットでのゴミ拾いや落書き消し等の環境保全・美化活動
- ・ 観光情報の広報・PR
- ・ 観光促進に係る取り組み
- ・ 観光客誘客に関する取り組み
- ・ 観光イベントや誘客キャンペーンの開催に関する事業 等

4. 次世代自動車の普及に資する事業

(事業の例)

- ・ 交通事故の削減等の抜本的な改善効果が期待される自動走行システム等の新たな自動車技術の導入に資する事業
- ・ 自動車分野における省エネ対策、地球温暖化対策、大気汚染対策に資する燃料電池自動車等の普及に資する事業 等

5. 自動車等による交通事故防止対策、被害者救済対策に資する事業

(事業の例)

- 交通遺児一時金等
- 交通安全の広報・啓発
- 交通安全に資する路灯や防犯カメラの設置・修理
- 交通安全施設（カーブミラー、ガードレール、区画線等）、横断歩道及び周辺等への事故防止柵等の設置
- バスやタクシー等の公共交通事業者に対するドライブレコーダーやバックモニターの設置 等

6. 公共交通機関等の維持確保に資する事業

（事業の例）

- 過疎地域における地域交通の確保や、公共交通の利用促進のための広報・啓発などの環境づくり
- 駅、空港からのバスや観光タクシー等の二次交通の利用促進
- 公共交通の運転士の人材確保 等

7. 街づくりに資する事業

（事業の例）

- 無電柱化など、道路環境の整備に係る事業
- まちづくりに係る事業
- 景観の観点からの野立広告物の撤去に係る事業 等

8. 観光施設・拠点等の保全・整備に資する事業

（事業の例）

- 観光施設や観光拠点の維持・保全に係る取り組み 等

9. その他、上記事業と一体となって利用者利便の向上、公共の福祉に資する事業

※他地域での寄付金活用事例

	助成事業 実施地域	助成対象事業内容	助成金交付額
令和元年度	熊本	高齢運転者安全運転装置設置支援事業 (ペダル踏み間違い防止装置設置補助)	3,582,300 円
令和2年度	徳島	「にし阿波」地域への観光誘致ポスター制作事業	222,500 円
	香川	高齢者反射材着用促進事業（反射たすき配布等）	974,800 円
令和3年度	徳島	「秋冬版マイカープラン」SNS 広告効果検証事業	※R4 公表
	熊本	高齢運転者ドライブレコーダー設置支援事業	※R4 公表

出展：国土交通省資料